

教 科		科 目		担 当 者			
芸術科		音楽 I		単位数：2 単位		佐々木 優子	
指導目標							
1. 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。							
2. 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。							
3. 主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。							
高校通信講座	あり	講座数：全 20 回	教科書	教育出版 音楽 I Tutti			
スクーリング	2 単位時間×3 回	合格時間数 4 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用			
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし			
期末試験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定			
回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)		レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)		
1	10/1	日本人と音楽 (音楽 I 学習について)			第 1 回 10 / 19(日)、10 / 15(水)		
2	10/8	イタリアの歌・階名		第 1 回 10 / 22 (水)	基礎的なリズムを確認し、身体を使ったボディーパーカッションを体験する。 「ミュージックベル」を演奏する。 楽譜を追うこと、五線上の音の高さ、音符の長さ、拍子などの音楽要素を体験する。		
3	10/15	フランスの歌・五線					
4	10/22	いろいろな声・音部記号		第 2 回 11 / 5 (水)	「ミュージックベル」を演奏する。 楽譜を追うこと、五線上の音の高さ、音符の長さ、拍子などの音楽要素を体験する。		
5	10/29	いろいろな楽器・音符①					
6	11/5	スペインの音楽 (ギター)・音符②		第 3 回 11 / 19 (水)	第 2 回 11 / 30(日)、11 / 12(水)		
7	11/12	アメリカの音楽 (ジャズ)・拍子					
8	11/19	日本のうた・変化記号		第 4 回 12 / 3 (水)	ギター各部の名称、楽器の持ち方、調弦の方法、ダイアグラムの読み方、タブラチュア譜の読み方、ストローク奏法を学ぶ。 「G」「Em」「Am」「D7」を使いギター演奏をする。		
9	11/26	日本のしらべ・強弱記号					
10	12/3	鑑賞「惑星」		第 5 回 12 / 17(水)	第 3 回 1 / 11(日)、1 / 14(水)		
11	12/10	作曲家「ベートーヴェン」～歓喜の歌					
12	12/17	ロシアの音楽・テーブルミュージックを作ろう		第 6 回 1 / 6 (火)			
13	12/24	アジアの音楽・言葉とメロディー					
14	12/31	音楽の歴史 (1)			箏の調弦方、奏法を学び「さくらさくら」を演奏する。 日本語の持つイントネーションに注目し、言葉の抑揚を生かしながら短い言葉にメロディーをつけ、楽譜に書いてみる。		
15	1/7	音楽の歴史 (2)					
16	1/7	期末試験について					
17	1/7	期末試験について					
18	1/14	音楽の不思議					
19	1/14	指揮者の仕事		期末試験：2 / 2 (月)			
20	1/14	音楽のくすり		試験範囲：講 座 第 2 回～第 13 回、 レポート 第 1 回～第 6 回			

教 科	科 目		担 当 者
芸術	美術 I	単位数： 2 単位	本多 優貴

指導目標

- (1) 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようにする。様々な材料を使い自分なりの工夫を加えていく。
- (2) 美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。画題に沿ってアイデアを練り、具体的に形を作っていく。
- (3) 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。作品を最後まで仕上げるにより達成感を味わう。

高校通信講座	あり	講座数：全 18 回	教科書	光村図書 美術 I
スクーリング	2 単位時間× 3 回	合格時間数 4 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし
期末試験	なし		評 定	100 点法 5 段階評定

回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
1	10/3(金)	入門講座		第1回 10/19(日)、10/15(水) 文字に触れてみよう！ 文字の形や特徴に触れてもらい、 新たな文字を制作する。また課題 では、着色することが多いので基 礎的な色彩技術も学ぶ。
2	10/10(金)	鉛筆デッサン①	第1回 10/24(金)	
3	10/18(金)	鉛筆デッサン②		
4	10/24(金)	文字デザイン①	第2回 11/7(金)	
5	10/31(金)	文字デザイン②		
6	11/7(金)	コラージュ①	第3回 11/21(金)	
7	11/14(金)	コラージュ②		
8	11/21(金)	文様①	第4回 12/5(金)	第2回 11/30(日)、11/12(水) 木版画 第6回レポート内容 あらかじめ、自宅で描いてきた下 書きを転写し、彫刻刀の彫り跡を 生かしながら彫っていく。白と黒 の配分に注意をする。刷りの作業 では均等にインクを塗りバレンで かすれなどがないように力を入れ る。気に入ったものができるまで 何枚か刷る。
9	11/28(金)	文様②		
10	12/5(金)	様々な素材をつかって造形する (オブジェ制作) ①	第5回 12/19(金)	
11	12/12(金)	様々な素材をつかって造形する (オブジェ制作) ②		
12	12/19(金)	木版画①	第6回 1/6(火)	
13	12/26(金)	木版画②		
14	1/2(金)	色彩①		第3回 1/11(日)、1/14(水) アクションペインティング 筆以外にも様々な材料 (歯ブラシ、 型紙、スポンジ、ボール紙、ストロ ー、マーブリングなど) を使い自分 のイメージを抽象表現する。材料 の特徴などを生かしてひとつの作 品として仕上げていく。
15	1/9(金)	色彩②		
16		なし		
17		なし		
18	1/16(金)	鑑賞		
19	1/16(金)	鑑賞		
20	1/16(金)	鑑賞 (終わりに)		

教 科		科 目		担 当 者	
芸術		書道Ⅰ		単位数： 2単位	石見 仁唯奈
指導目標					
書道の幅広い活動を通して、書に関する見方、考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。中国や日本の古典に触れ、書道を愛好する心情を育成し、表現能力の習熟や鑑賞力を伸ばす。					
(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広くし理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。					
(2) 書の良さや美しさを感じ意図に基づいて構想し表現を工夫したり作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。					
(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。					
高校通信講座	あり	講座数：全18回	教科書	光村図書 書Ⅰ	
スクーリング	2単位時間×3回	合格時間数4時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全6回	合格枚数6枚	副教材	なし	
期末試験	なし		評 定	100点法5段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	10/2	入門講座 (用具説明)	第1回 10/23(木)	第1回 A：10/19 W：10/15 ・第1回作品課題 基本点画を何枚か練習し添削を受けてから提出作品を書き上げていく。「天河」「丹書表瑞」も同様に練習、添削を繰り返し、より良いものを提出できるようにしていく。	
2	10/9	書体説明			
3	10/16	楷書	第2回 11/6(木)		
4	10/23	行書			
5	10/30	隸書	第3回 11/20(木)		
6	11/6	篆書			
7	11/13	草書	第4回 12/4(木)	第2回 A：11/30 W：11/12 ・第2回作品課題 「蘭亭序」基本点画を何枚か練習し提出作品を書き上げていく。練習を繰り返しより良いものを提出できるようにしていく。 (小筆使用作品)	
8	11/20	かな			
9	11/27	九成宮醴泉銘の書き方 (楷書)	第5回 12/18(木)		
10	12/4	孔子廟堂碑の書き方 (楷書)			
11	12/11	雁塔聖教序の書き方 (楷書)	第6回 1/6(木)		
12	12/18	顔氏家廟碑の書き方 (楷書)			
13	12/25	蘭亭序の書き方 (行書)		第3回 A：1/11 W：1/14 ・「迎春」「その年の干支」を自分が選択した書体にて書き上げる。隸書や篆書を組み合わせながら練習を繰り返し、自己の表現を見つけて作品を完成させる。	
1	1/1	風信帖の書き方 (行書)			
15	1/8	曹全碑の書き方 (隸書)			
18	1/15	泰山刻石の書き方 (篆書)			
19	1/15	いろは書き方㊦ (かな)			
20	1/15	いろは書き方㊦ (かな)			

持ち物:教科書、筆記用具。 書道道具は全て貸し出しですが、個人のものを使用したい場合は各自用意してください。提出方法:ロイロノートにて。

スクーリングに出席した際にはレポートとはまた別に授業時に書いた作品を提出する必要がありますので担当石見の指示に従ってください。